



## 平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月12日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン  
コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 敏志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 川上 優

TEL 06-6765-0670

四半期報告書提出予定日 平成24年10月15日 配当支払開始予定日 平成24年11月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	4,361	1.4	160	84.3	159	95.4	69	37.5
24年2月期第2四半期	4,299	△11.9	87	△62.2	81	△64.3	50	△41.3

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 66百万円 (37.1%) 24年2月期第2四半期 48百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	8.44	—
24年2月期第2四半期	6.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	4,284	—	2,009	—	—	46.3
24年2月期	3,269	—	1,986	—	—	60.2

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 1,984百万円 24年2月期 1,967百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年2月期	—	6.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	△9.4	110	△52.9	110	△53.1	50	△69.7	6.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	8,359,103 株	24年2月期	8,359,103 株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	133,859 株	24年2月期	133,845 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	8,225,251 株	24年2月期2Q	8,225,301 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
( 1 ) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
( 2 ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 3 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
( 4 ) 追加情報 .....	3
3 . 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
( 6 ) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,361百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益160百万円（前年同期比84.3%増）、経常利益159百万円（前年同期比95.4%増）、四半期純利益69百万円（前年同期比37.5%増）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

#### <キャラクターエンタテインメント事業>

アミューズメント部門におきましては、チェーン展開する顧客を中心に、それぞれのニーズに即した商品企画を展開することによりシェアの拡大を進めました。商品では、「モケケ」「M o j a !」等が引き続き好調に推移し、7月に発売した「AKB48」は人気商品となり、売上高は2,079百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

SP（セールスプロモーション）部門におきましては、出版会社や食品メーカー等からの発注がありましたが、前年同期に比べると大型案件の受注が少なく、売上高は298百万円（前年同期比39.3%減）となりました。

EC（イーコマース）部門におきましては、かつて売上の中心であったフィギュア・ホビー商材の取扱いを取りやめた影響もあり、売上高は21百万円（前年同期比58.2%減）となりました。今後は、需要の高いぬいぐるみや生活雑貨等を中心にして、競合他社と差別化できるオリジナル商品の企画開発へシフトしていきます。

以上の結果、売上高は2,399百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は102百万円（前年同期は2百万円の営業利益）となりました。

#### <キャラクター・ファンシー事業>

当事業におきましては、昨年まで大ヒットを記録した人気キャラクターの落ち込みが大きく影響し、既存の商品は総じて低調に推移いたしました。しかしながら大手コンビニエンスストア及び家電量販店に対する「AKB48」関連グッズの売上により、全体を押し上げることができました。

以上の結果、売上高は1,539百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は70百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

#### <リテイル事業>

当事業におきましては、「ナカヌキヤ」3店舗において、心斎橋店は売上高が堅調に推移し、松山銀天街店も粗利率の改善により利益を確保することができました。一方、広島本通り店は商店街の集客力が低下する中、経費削減をすすめましたが、利益を残すことができませんでした。

「SALAD BOWL」3店舗においては、兵庫TSUKASHI店は前年同期の売上高を上回りましたが、広島ASSE店は売上高が前年同期の実績を下回り苦戦しました。

以上の結果、売上高は422百万円（前年同期比3.3%減）、営業損失は24百万円（前年同期は12百万円の営業損失）となりました。

なお、平成24年10月11日開催の当社取締役会において、株式会社ナカヌキヤを平成25年2月末をもって清算することを決議いたしました。詳細は同日公表いたしました「業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,015百万円増加し、4,284百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加額647百万円、東京新ビル取得による土地の増加額273百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べて992百万円増加し、2,275百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額621百万円、短期借入金の増加額300百万円によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて22百万円増加し、2,009百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額20百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて24百万円減少し、751百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、89百万円(前年同期は74百万円の獲得)となりました。

これは主に、売上債権の増加額が647百万円あったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が93百万円、減損損失が29百万円及び仕入債務の増加額が622百万円あったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、362百万円(前年同期は26百万円の使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が315百万円及び無形固定資産の取得による支出が40百万円(投資活動のキャッシュ・フロー「その他」)あったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、250百万円(前年同期は49百万円の使用)となりました。

これは主に配当金の支払額が49百万円あったこと等により一部相殺されたものの、短期借入金の純増加額が300百万円あったことを反映したものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

上述の連結子会社の清算に伴う店舗資産の減損損失と、当該子会社の従業員に対して早期退職優遇制度の実施に伴う費用を、特別損失として66百万円計上いたしましたので、平成24年10月11日に業績予想の修正を決議いたしました。詳細は同日公表いたしました「業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に当たり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	775,960	751,900
受取手形及び売掛金	998,980	1,646,687
商品	339,147	414,300
繰延税金資産	20,606	13,950
その他	82,959	84,325
貸倒引当金	5,134	10,589
流動資産合計	2,212,520	2,900,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	424,036	525,982
減価償却累計額	162,244	168,915
建物及び構築物(純額)	261,792	357,066
車両運搬具	11,823	12,929
減価償却累計額	7,270	8,589
車両運搬具(純額)	4,552	4,339
その他	65,639	83,196
減価償却累計額	57,076	60,780
その他(純額)	8,562	22,416
土地	266,356	539,494
建設仮勘定	84,400	-
有形固定資産合計	625,663	923,316
無形固定資産	16,472	49,107
投資その他の資産		
投資有価証券	51,998	51,782
繰延税金資産	5,741	2,743
その他	372,940	367,413
貸倒引当金	15,997	10,535
投資その他の資産合計	414,682	411,403
固定資産合計	1,056,819	1,383,827
資産合計	3,269,339	4,284,402

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	537,731	1,159,709
短期借入金	350,000	650,000
未払法人税等	35,410	16,880
賞与引当金	37,482	45,749
資産除去債務	-	32,081
その他	176,273	236,896
流動負債合計	1,136,897	2,141,317
固定負債		
繰延税金負債	692	112
役員退職慰労引当金	132,119	133,624
資産除去債務	10,085	-
その他	3,472	330
固定負債合計	146,370	134,066
負債合計	1,283,268	2,275,383
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	1,105,241	1,125,307
自己株式	51,200	51,203
株主資本合計	1,966,877	1,986,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,597	341
繰延ヘッジ損益	228	75
為替換算調整勘定	2,238	2,232
その他の包括利益累計額合計	587	1,966
新株予約権	18,606	24,045
純資産合計	1,986,071	2,009,018
負債純資産合計	3,269,339	4,284,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	4,299,558	4,361,743
売上原価	3,151,109	3,095,957
売上総利益	1,148,449	1,265,786
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	403,657	398,127
賞与引当金繰入額	48,722	45,749
退職給付費用	15,357	12,725
役員退職慰労引当金繰入額	3,526	3,590
貸倒引当金繰入額	3,228	4,997
その他	586,790	639,935
販売費及び一般管理費合計	1,061,283	1,105,126
営業利益	87,165	160,660
営業外収益		
受取利息	119	162
受取配当金	1,230	1,273
受取補償金	200	2,225
その他	4,113	5,156
営業外収益合計	5,662	8,818
営業外費用		
支払利息	2,066	2,791
投資有価証券評価損 為替差損	1,185	4,255
その他	6,979	1,213
その他	810	1,394
営業外費用合計	11,042	9,655
経常利益	81,786	159,823
特別利益		
新株予約権戻入益	192	96
その他	3,309	-
特別利益合計	3,501	96
特別損失		
減損損失	-	29,427
特別退職金	-	37,201
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,136	-
特別損失合計	6,136	66,629
税金等調整前四半期純利益	79,151	93,290
法人税、住民税及び事業税	26,564	14,540
法人税等調整額	2,108	9,331
法人税等合計	28,672	23,872
少数株主損益調整前四半期純利益	50,478	69,418
四半期純利益	50,478	69,418



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	50,478	69,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	551	2,256
繰延ヘッジ損益	403	304
為替換算調整勘定	750	5
その他の包括利益合計	1,705	2,554
四半期包括利益	48,773	66,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,773	66,863
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	79,151	93,290
減損損失	-	29,427
賞与引当金の増減額(は減少)	4,947	8,267
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,526	1,504
貸倒引当金の増減額(は減少)	217	7
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,344	3,142
差入保証金の増減額(は増加)	1,146	902
受取利息及び受取配当金	1,349	1,436
支払利息	2,066	2,791
投資有価証券評価損益(は益)	1,185	4,255
売上債権の増減額(は増加)	424,443	647,796
たな卸資産の増減額(は増加)	6,646	75,191
仕入債務の増減額(は減少)	357,676	622,084
その他	19,683	88,839
小計	48,111	123,788
利息及び配当金の受取額	1,401	1,462
利息の支払額	2,061	2,827
法人税等の支払額	50,247	33,228
法人税等の還付額	77,025	235
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,229	89,430
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	6,258	315,627
その他	19,894	46,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,153	362,452
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	300,000
自己株式の取得による支出	-	3
配当金の支払額	49,092	49,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,092	250,855
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,781	1,893
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	5,798	24,060
現金及び現金同等物の期首残高	871,000	775,960
現金及び現金同等物の四半期末残高	865,201	751,900

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	リテイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,457,322	1,405,007	437,228	4,299,558	-	4,299,558
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,702	108,174	-	120,876	(120,876)	-
計	2,470,024	1,513,181	437,228	4,420,434	(120,876)	4,299,558
セグメント利益 又は損失( )	2,493	90,887	12,699	80,681	6,483	87,165

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額6,483千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	リテイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,399,683	1,539,182	422,878	4,361,743	-	4,361,743
セグメント間の 内部売上高又は振替高	311,253	149,640	-	460,894	(460,894)	-
計	2,710,937	1,688,822	422,878	4,822,638	(460,894)	4,361,743
セグメント利益 又は損失( )	102,715	70,428	24,162	148,982	11,677	160,660

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額11,677千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リテイル事業」セグメントにおいて、収益性が低下し、事業整理の方針となったことにより店舗資産について、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、29,427千円であります。